

平成 28 年度

要 望 書

大阪府立高等学校 P T A 協議会

要 望 書

大阪府議会、大阪知事部局、大阪府教育委員会事務局の皆様におかれましては、平素から府立高等学校における教育振興に格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、教育委員会が管掌される平成 28 年度当初予算が、各事業を精査される中で平成 25 年度より 3 年間続けて総額で前年度を上回るものとなりましたことに感謝しております。

しかしながら情報機器の普及と急速な変化によって、人と人のつながり方が大きな影響を受け、停滞する経済状況が続く中、地域や家庭環境という生徒にとって大切な環境に、厳しいものがあります。

その中であって教育の場としての学校は生徒が自分の命と他人の命を大切にしながら健やかに成長するところであり、その環境としてふさわしいものであることが期待されます。

これまでに安全を第一として耐震対策の予算を確保し、精力的に進めていただきましたこと感謝いたします。一方で「新設校」といわれた府立高校においても、その多くが建設時より 35 年以上経過しており、技術の進歩と生活環境の変化の中にありながら各校の施設・設備の老朽化が目立ち、安全性に欠く緊急性に高いものもあります。

各校より寄せられました要望には、現代の府立学校にふさわしい教育環境の整備と充実を求めるものが多くあります。

今年度もその切実な要望の代表的なものを 3 枚にまとめ、併せて各校からの声を 6 つの項目ごとに紹介させていただきます。

次年度の予算編成へ向けて、いずれも大切な要望であり、各項目について検討され、回答をお願いいたします。またご回答いただきました内容については加盟校に報告いたしますとともに、今年度については、まとめの中で番号を太字にいたしました 9 項目について、予算編成時には平成 29 年度の当初予算に反映いただいた内容を、さらに平成 29 年度途中で、その実施状況について改めてお伺いいたしますので、引き続いてのご理解とご協力を賜りますよう、切に要望いたします。

併せて昨年の要望書について平成 27 年 12 月 16 日の応接においてご回答いただきましたが、その結果についても質問させていただきますので、宜しくをお願いいたします。

平成 28 年 11 月 10 日
大阪府立高等学校 P T A 協議会

1、個性を伸ばす高校教育の充実に関する事項

公立高校が生徒や保護者にとって魅力ある学校になるよう、各校が大阪府の制度・システムを生かして教育活動に取り組んでいる。各校のそれぞれの目標・取り組みがより一層実現できるよう、それぞれの人的支援制度の充実と予算的な裏付けをお願いしたい。

- (1) 各分野の専門性の高い教育を推進するため、社会人指導者、外部講師の
配当時間の増加、少人数指導が継続できる教職員加配の継続
- (2) 教育相談：スクールカウンセラー・スーパーバイザーの配置と常駐化
それを支える養護教諭の複数配置
- (3) ネイティブな指導ができる外国人英語教員の複数派遣
- (4) 部活動の技術指導のための外部指導者派遣の予算の充実
- (5) スクールソーシャルワーカーの定期的な配置

2、学校管理運営費に関する事項

毎年要求される学校管理費の削減により、必要な教材予算等が十分確保できない状況にあります。充実した学校教育を行うのに必要な予算配分を要望します。

- (1) 各校の学校維持管理費のマイナスシーリングの中止
- (2) 教室のエアコンの設定温度の緩和による空調総時間の増加
それに伴う光熱費等の増額
- (3) 事務職員を国基準にあった人数に戻す
- (4) 津波避難指定校における災害対策備品の予算確保

3、施設・設備に関する事項

「新設校」といわれた府立高校においても、その多くが建設時より35年以上経過しております。耐震対策が進むものの、各校の施設・設備の老朽化が進み、安全性に欠く緊急性に高いものもある。

現代の府立学校にふさわしい教育環境の整備を要望します。

(1) トイレの設備と環境の整備

単に和式を洋式便器に付け替えるというものでなく、様々なニーズを調査の上、使いたいと思う学校トイレの設計と環境の整備を要望する。

(ニーズ例)

- ・身体障がい生徒トイレにパブリック用折り畳みシートの設置
- ・男子便器の自動洗浄化（臭い対策の為）
- ・水道蛇口の自動化（衛生管理の為）
- ・「自己認識性別に基づくトイレ利用への対応」として、多目的トイレの増設
- ・ウォシュレットの導入

(2) 老朽化した校舎の施設・設備の改修

安全面の緊急改修と教育環境の整備

(要望例)

- ・実習場、体育館、食堂へエアコンの設置
- ・屋上防水工事（雨漏りによるPC機器、楽器への被害を防ぐため）
- ・プールの浄化槽の能力強化・給排水管及びプールサイドコンクリートの改修
- ・校内放送設備の更新
- ・駐輪場の整備（屋根付き）、レインコート置き場の設置
- ・女子生徒用の更衣室・トイレ等の設備・施設を充実（工科高校）
- ・床面の改修
- ・グラウンドやテニスコートの整備
- ・老朽化したエアコンの改修
- ・農場の老朽化した温室の解体撤去

(3) 不審者侵入防止のため、フェンス、監視カメラの設置

(4) 部活の充実を図るための「用具入れ倉庫や、部室の整備」等の予算

4、進路指導に関する事項

- (1) 就職支援コーディネーターの配置及び時間数の増加

5、専門教育に関する事項

- (1) 実習に必要な、実習材料や作業服の購入といった消耗費の増額
- (2) 老朽化したパソコン、ICT機器の更新

6、その他、PTA活動に関する事項

- (1) 各校のPTAが独自に行う支援活動が、府の監査・査察等で不必要に制限されないこと
- (2) 大災害時における生徒の安全確保対策、家庭との連絡対策等、府立高校の具体的なマニュアル化